

平成21年の新春を健やかに迎えのいっしょ
心からお慶び申し上げます。



さつま町長
いのうえ しょうぞう
井上 章三



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成21年の新春を健やかに迎えのこと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、町政各般にわたりまして皆様の温かいご理解とご協力を賜り、概ね順調な行政運営ができましたことに厚くお礼申し上げます。

本年は、昨年来の世界的な経済不況の中にあつて、本町でも製造業を中心に、かつて経験したことのない大変厳しい状況下にあります。町としても最大限の努力を傾注し、この難局を乗り越えてまいる所存であります。

さて、私も初代「さつま町長」として就任以来、一体感と公平感のある新町づくりを基本に、様々な政策の実現に努力してまいりました。まだ道半ばではありますが、行財政改革の推進と財政健全化対策については、町債残高を約40億円減らすとともに、職員数の大幅な削減など、着実に進展しております。定住・雇用対策については、5件の立地協定締結や企業との連携した取り組みなどが高く評価され、経済産業省から企業立地に頑張る市町村の中で、「特色ある取組をしている市町村」として

て、全国12団体に選定されたところ
です。

また、平成18年の県北部豪雨災害からの災害復興対策については、九州では過去2番目の事業規模となる川内川の激特事業と併せ、大規模な鶴田ダムの再開発事業により、歴史的な治水対策工事がいよいよ本格化してまいります。

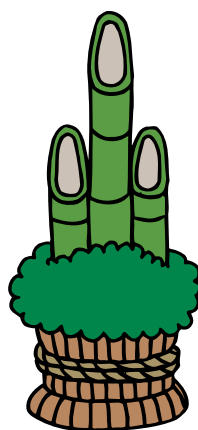
農・林・畜産業については、県内でもいち早くJAさつまと連携し、担い手の育成・支援と集落営農、特産品の開発などに積極的に取り組んでおります。交流面ではグリーンツーリズム、スポーツ及び文化面での交流促進を図ってまいりました。

新町が誕生して4年、さつま町の本格的なまちづくりはこれからであります。

新春を迎え気持ちを新たに、町民皆様と一体となって「個性と知恵と協働で創造する豊かなまちづくり」をめざし、時代の荒波を乗り越えてまいりたいものであります。

年頭に当たり、町政に対する倍旧のご支援とご協力をお願いし、併せて本年が皆様にとりまして最良の年でありますよう、祈念いたしましてあいさついたします。

2009 新年のごあいさつ



町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎
えのことと謹んでお慶び申し上げます。



さつま町議会議長
はまだ ひとし
濱田 等

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えることと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は町政の推進と町議会活動に対し、町民の皆様温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年のわが国経済は、戦後最長の景気拡大から一転してアメリカ発の金融不安に端を発した世界経済失速の影響を受け「一〇〇年に一回の大不況」とも言われ企業倒産、雇用環境の悪化など大変厳しい経済情勢となつてきています。

本町においても、基幹産業である農林業でも、燃料、飼肥料、農業資材などの高騰により大きな影響を受けています。

また、商業も売上低下や受注減など厳しい局面を迎えております。

町行政においても、将来にわたって持続可能な行財政基盤の確立と地方分権型社会の確立をめざして計画的に行政改革が推進されております。

本町議会も、本年の4月23日に、任期満了を迎えます。

平成17年3月22日の合併時からこれまで、28名（現員27名）の議員が一丸となって町民の皆様が住んでよかったと言えるような「さつま町」を創るのだという理念の元に積極的な活動を進めてまいりました。

今回の選挙から議会改革により定数を従来の「28人」から「20人」に削減するとともに旧町ごとの選挙区も撤廃することによりしております。

さつま町は、人口の減少や少子高齢化など多くの課題もありますが、一方、「自然」・「食」・「温泉」など全国に誇れる地域資源に恵まれており、個性と魅力あふれるまちであります。

本年の経済予測は、大変厳しく先行きも不透明なところもありますが、このようなときにこそ心を一つにして難局を乗り越えなければならぬと考えております。

本年も、町議会に対する更なるご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、平成21年が皆様にとって幸多い輝かしい年となることを心から祈念申し上げ新年のあいさついたします。